

代 表 者
院 去

行 政 視 察 報 告 書

令和5年8月10日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員 院 去 裕

次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

令和5年8月2日（水），3日（木），4日（金）

2. 調査項目

尼崎市立ユースセンターについて（尼崎市）
高岡市美術館について（高岡市）
城北児童会館について（金沢市）

3. 参加議員

院 去 裕

■調査項目

尼崎市立ユースセンターについて

・調査対応者

尼崎市こども青少年局 こども青少年部長 朴 志
尼崎市こども青少年局 こども青少年課長 浅田 崇之
尼崎市こども青少年局 こども青少年課係長 福田 聡
尼崎市立ユース交流センター長（指定管理者） 片岡一樹

・調査期日

令和5年8月2日（水）14時00分～15時30分

・調査目的

ユース交流センターを中心とした若者を巻き込んだまちづくりについて

・調査内容

尼崎市ユース交流センターの現地視察及び若者を巻き込んだまちづくりについて、推進状況や課題について説明を受けた。若者がユースワークの視点を取り入れた青少年の居場所づくり、自主的な活動の促進方法。市民・団体の交流の場としての活用について学んだ。

【質疑応答】

若者を巻き込んだまちづくりにより、尼崎市では、若者に影響のある政策に当事者の声を反映させ、若者政策の政策効果を高めるとともに、若者自身がまちづくりを自分事として捉え、様々な社会課題に当事者意識が芽生えた。年に一度の発表会では市からそれぞれの活動への助言等も行うことで、活動内容が深まり、活動の幅が広がることで、参加者自身の成長に繋がっている。

【呉市での展開の可能性】

第5次呉市長期総合計画にある子育て、教育に加え、青少年の位置づけを明確にし、若者育成支援や若者の意見を取り入れた政策推進に役立て、若者の居場所づくりも具体化する必要がある。

■調査項目

高岡市美術館について

・調査対応者

高岡市美術館副館長管理課長 畑 雅弘
高岡市美術館学芸課長 瀬尾 千秋
高岡市美術館学芸員 鈴木 雅子

- ・調査期日

令和5年8月3日（木）16時00分～17時30分

- ・調査目的

美術館の展示内容や教育活動について

- ・調査内容

高岡美術館内の企画展、藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーを見学、副館長から美術館について説明を受けた。常設展示はなく、企画展や地元縁のある作家や伝統工芸のギャラリーを開催している。研修時に、見て触れて光と遊ぶ、「魔法の美術館」を開催し、体験型のアート展を開催。

【質疑応答】

美術館は築30年になり、展示リニューアルや修繕が課題になっている。常設展示するスペースは無く、知恵を絞った企画を行っている。高岡文化の森の中に美術館はあり、隣接する工芸高校とも連携し、ものづくり、クリエイティブ高岡、インターンシップに取り組んでいる。

【呉市での展開の可能性】

呉市立美術館は開館して40年が経過している。現在、美術館のあり方について検討している段階である。リニューアルに必要な費用の調達、40年間で蓄積してきた歴史の評価などやるべきことは多い。呉市立美術館は呉市の文化芸術の中心であり、幸町付近を呉文化の杜拠点に位置付け、文化芸術の発展に寄与すると思われる。

■調査項目

城北児童会館について

- ・調査対応者

城北児童会館 館長 羽場 政彦

- ・調査日

令和5年8月4日（金）10時00分～11時00分

- ・調査目的

児童館は、18歳未満のこどもすべてを対象としている。地域の子どもの遊び、生活の援助を行うことで、子どもたちの豊かな情操づくりを行う。

- ・調査内容

城北児童会館は、職員数18名で構成され、活動内容は、通常業務はおもちゃ等の貸出、各種行事、クラブ活動、子育て支援など。

【質疑応答】

活動内容について、週末行事のなかにおもちゃ病院があり市内からたくさん集まってくる。子育て支援コーディネーター相談が昨年1,700件あり、増加傾向にある。今後は、老朽化による施設の修繕費確保が課題である。職員も会計年度職員がほとんどで人材の確保も厳しい。

【呉市での展開の可能性】

呉市の児童館も施設の老朽化や少子化による利用者数が減少している。市内に3ヶ所ある児童館の内、1ヶ所は老朽化のため休館となっている。こどもの居場所づくりは必要なものであり、休館のままでなく地域も巻き込んだ代替施設の検討が求められる。